

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	広島県	市町村名	呉市	大学名	
派遣日	令和4年7月12日(火曜日) 14:00~16:00 14:00~外国人児童生徒等の受入れ体制の整備について 15:00~日本語指導の理論と方法, 日本語指導担当者の指導力向上に向けた取組について				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 (派遣) / 遠隔				
派遣場所	呉市役所851会議室(呉市中央4丁目1番6号)				
アドバイザー氏名	横溝 亮 (横浜市立鶴見小学校 主幹教諭)				
相談者	呉市教育委員会 学校教育課 小中一貫教育指導グループ 教職員管理グループ 学務グループ 人権教育相談員 呉市市民部 地域協働課				
相談内容	① 外国人児童生徒等の受入れ体制の整備について ・「学校に受け入れるまでのフローチャート」への指導助言 ・外国人児童生徒の確実な就学に向けた関係機関や関係課との連携等 ② 日本語指導の理論と方法, 日本語指導担当者の指導力向上に向けた取組について ・一人一人の児童生徒に応じた日本語指導の在り方について ・教育委員会や学校の受入れ体制の構築について ・教員研修のもち方や, 教材の活用方法 ・進路指導等各学校で必要となる具体的な支援方法等				
派遣者からの指導助言内容	① 外国人児童生徒受入れに係る市町村教育委員会の役割 ・「教育方針」等へ外国人児童生徒等教育の明確な位置付け ・就学前のプレスクールや進路説明会の開催 ・通訳や母語支援, 学校での生活補助をする人材の確保 ・日本語指導担当教師の配置の他, 日本語指導の支援者の設置 ・人的支援(日本語指導担当者の研修実施等)や物的支援(教材, 翻訳文書等) ② 日本語指導の理論と方法, 日本語指導担当者の指導力向上に向けた取組について ・日本語能力測定方法DLAを使って, 外国人児童生徒の「読む, 書く, 聞く, 話す」力を把握し, 一人一人に合った日本語指導を考える。 ・在籍学級の担任と日本語指導担当者が十分連携し, 取り出し授業の内容と在籍学級の授業内容を合わせていくことが必要。 ・学力を付けさせるためには, 日本語指導と学習指導を合わせて行う。 ・教材について, デジタル教科書の活用や, 教材の共有など, 市町全体で情報共有していくことで, 教材の充実を図る。				

(様式3)

相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none">・外国人児童生徒の就学に向けて、学校、教育委員会、関係課等の役割を再確認するとともに、今後、教育委員会が窓口となり、学校や関係機関等との連携や調整を充実させる。・外国人児童生徒の受入れ体制や日本語指導について、学校全体で取り組むことができるよう、今回の研修内容を踏まえ、学校へ情報提供していく。
--------------------	--